


令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業報告書

事業No. 事業の名称	No.63 獣害捕獲強化による農地の保全事業	担当課	産業振興課
事業の概要	感染症蔓延防止の自粛期間中に、見回り回数が減少した農地や、人の往来が減少した集落付近において、ニホンザルによる被害や目撃件数が増加しているため、サル用大型捕獲檻資材を購入し、捕獲強化により農地を保全する。		
緊急経済対策との関係	Ⅲ-2 地域経済の活性化	事業の始期 事業の終期	令和2年7月 令和2年8月
総事業費	924,000円	事例集番号	61
交付対象経費	924,000円	補助・単独	単独
事業の効果	<p>コロナ禍での外出自粛により、ニホンザルの目撃情報が増えた地区にサル用大型捕獲檻を設置。</p> <p>設置直後は警戒心が高まることや餌付け期間等も含め長い期間を要し、秋以降、町内での被害の多い水稻は休耕期を迎え、サルの群れは餌場を探し町外に移動する場合も考えられる。事業の効果として現状すぐに検証できるものではないが、ニホンザルの捕獲は年間を通じて許可を出していることもあり、今後、群れ単位でのニホンザルの捕獲が可能となることにより、当町での生産が盛んな水稻の被害軽減が見込まれる。</p>		
事業の様子 (写真等)			
備考欄			